令和7年度白鷹町健康応援推進事業プロポーザル実施要綱

1 目的

この事業は、全世代で取り組む健康づくり・支えあいを軸にした交流・賑わいの創出等を目的として実施するもの。

また、この事業は、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）を活用して実施する事業であり、今年度は、令和8年度からの実装に向けて、関係機関を含めた合意形成等を行いながら、自身の健康データの可視化及び利活用等を通じて健康習慣の普及・継続等を推進するための仕組みを検討し、併せて当該仕組みの実証実験（R7.11～R8.3）を実施し、アンケートの実施・分析や課題整理等を通じた効果検証を行うもの。

2 業務概要

(1)業務名 令和7年度白鷹町健康応援推進事業

(2)業務内容 別紙「健康応援推進事業 業務委託仕様書」(以下、「仕様書」という。)のとお
り。ただし、契約時における仕様書については選定された候補者の企画提案内容に応じて
変更することがある。

(3)委託期間 契約締結日から令和8年3月31日まで

(4)業務委託料 11,000,000円(消費税及び地方消費税を含む)以内

※内閣府の新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)対象事業

3 参加資格等

プロポーザルに参加できる者は、次の条件をすべて満たす者とする。

- (1)法人格を有するものであること。
- (2)地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4(一般競争入札の参加者の資格)の規定に該当しない者であること。
- (3)会社更生法(平成14年法律第154号)に基づく更生手続き開始の申立てがなされている者でないこと。
- (4)民事再生法(平成11年法律第225号)に基づく民事再生手続き開始の申立てがなされている者でないこと。
- (5)白鷹町発注の契約に係る指名停止処分を受けている者でないこと。
- (6)白鷹町暴力団排除条例(平成24年3月23日条例第1号)第2条第1号の暴力団、同条第2号の暴力団員及び同条第3号の暴力団員等のいずれにも該当しないこと、また、いずれかの利益となる活動を行う者でないこと。
- (7)本業務委託を確実に履行できる体制及び同種業務の履行実績があること。

4 実施スケジュール(予定)

プロポーザルの実施スケジュールは次のとおりとする。

項目	期日	備考
実施要綱等の公表	令和7年 7月7日(月)	ホームページ掲載
質問事項の受付	令和7年 7月7日(月) 令和7年 7月15日(火)まで	正午必着
質問事項の回答	令和7年 7月21日(月)まで	電子メール等
参加表明書の提出	令和7年 7月25日(金)まで	正午必着
企画提案書等の提出	令和7年 8月1日(金)まで	午後5時必着
審査(プレゼンテーション審査)	令和7年 8月7日(木) ※予定 詳細な時間は、参加者確定次第通知	
審査結果通知	令和7年 8月8日(金) ※予定	
契約締結	令和7年 8月上中旬	

※上記スケジュールは変更となる場合がある。

※予定となっている箇所については、7月11日(金)まで確定したものを掲載する。

5 参加申し込み

(1)提出書類

- ① 参加表明書(様式第1号)
- ② 企画提案書
- ③ その他参考資料(会社概要等説明に必要なもの)

(2)提出部数 16部(原本1部、写し15部)ホチキス綴じとする。

(3)提出方法 持参又は郵送(当日到着分のみ有効)

(4)提出期限 ①は令和7年7月25日(金)正午、②③は令和7年8月1日(金)午後5時

(5)企画提案書の構成

- ① 仕様書「4. 業務内容」の各項に対する提案(実施方法、回数、想定される手法など具体的な数値等を盛り込むこと。)について、審査基準に照らした内容とすること。
- ② 独自の効果的な提案(上記①同様、具体的な数値等を盛り込むこと。)
- ③ 業務全体のスケジュール表(着手から完了までが分かるもの。)
- ④ 自治体における事業実績及び業務に携わるスタッフ体制等
- ⑤ 見積書(明細を記載するとともに、消費税及び地方消費税を含んだ金額を記載すること。)

6 内容についての質疑受付・回答

(1) 質疑がある場合は、その旨を書面「質問書(様式第4号)」に記載のうえ、電子メールにて送付すること。なお、電子メール送信の際は件名に「健康応援推進事業業務質問書(業者名)」と記載すること

① 受付期間: 令和7年7月7日(月)～7月15日(火)

② 提出場所: 白鷹町役場健康福祉課

E-mail: kenfuku2@so.town.shirataka.yamagata.jp

(2) 質問に対する回答は以下のとおり。

① 回答日時: 令和7年7月21日(月)までに随時回答する。

② 回答方法: 電子メール等にて回答する。

7 審査・選考方法

(1) 審査

審査では、提案者による提案書等についてプレゼンテーション(1件30分)及び審査委員によるヒアリング(1件20分)を実施し、最優秀提案者及び次点提案者をそれぞれ1者選定する。ただし、応募者多数の場合は、1次審査を実施し、1次審査を通過した法人等を対象に2次審査として本審査を実施する場合がある。

① 審査に参加できる人数は1提案者3名以内とし、審査の詳細は審査対象者に対してのみ通知する。

② 会場及びスクリーンは白鷹町が準備し、プロジェクター、パソコン等の機器類は、提案者が準備する。

③ 審査の結果は、電子メール及び書面にて通知するとともに、白鷹町ホームページに掲載する。

④ 応募者の得点は公表及び開示しない。また、審査経過及び審査結果に関する質問、異議申立ては一切受け付けないものとする。

(3) 審査の審査基準

審査の評価基準は、次のとおりとする。

No.	評価項目	
1	基本的方向	<p>①事業の全体像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本業務の目的を正しく理解し、事業の全体像が本町の目指す方向性と合致しており、成功が期待できる。
2	総括事項	<p>②健康状態や活動状況等の可視化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体組成計や血圧計等による測定結果や健康づくりに向けた自身の運動・活動状況について、その変化も含め、わかりやすく可視化できる。
		<p>③ポイント付与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりやボランティアへの参加時など、日常の様々な場面で、様々な手法によるポイント付与が可能である。
		<p>④ポイント付与以外の行動変容の要素</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント付与以外にも、ゲーム性などを取り入れつつ、自然にやりたくなる、かつ、継続できる要素がある。
		<p>⑤事業への参加のしやすさ（アクセシビリティ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やスマートフォン等の操作が苦手な方への配慮を含め、シンプルでわかりやすい仕組みが提案されている。
3	健康習慣づくりを後押しする基本的な仕組みの構築	<p>⑥運動習慣の普及・継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで健康づくりに関心がなかった層を含め、各世代の多くの町民の参加が期待できる。 ・各世代の町民が、健康づくりを習慣化することができる。
		<p>⑦自助・互助・共助による健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可視化された自身の健康状態や活動状況を活かし、自身の健康づくりにつなげていくことができる。 ・各地区や住民団体など、専門職がない場面であっても教え合い等を通じて主体的に健康づくりを推進することができる。
		<p>⑧町の活性化及びにぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の観光・スポーツイベント等の参加者増加等や各事業者との連携等を通じて町の活性化及びにぎわい創出につなげていくことができる。
		<p>⑨スマートフォン等を有しない方の健康づくり機会確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンを有しない方であっても、同等の効果が期待できる参加方法が提案されている。
4	全世代型の支え合いの仕組みの構築	<p>⑩ボランティア等支え合い活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等の支え手・担い手の活動意欲を高めることができ、新たな創出が期待できる。

No.	評価項目	
5	健診結果等に基づく生活習慣改善の仕組みの構築	⑪健康診断・人間ドック受診後のフォローアップ強化 ・精密検査の受診率向上が期待できる。
		⑫健康診断・人間ドック受診結果の利活用 ・受診結果を踏まえた健康リスク診断や生活習慣改善プログラム等が、生活習慣改善の行動に移す動機付けになる。 ・健康診断・人間ドック受診率の向上につながる。
6	隣接する町立病院との連携により効果を高める仕組みの構築	⑬隣接する町立病院との連携 ・町立病院との連携方法が具体的に提案されており、当該連携を通じて健康づくりの意欲向上や取組の推進が期待できる。
7	ハードとの連携により効果を高める仕組みの構築	⑭ハード（健康福祉センター施設機能）との連携 ・健康福祉センターの施設を拠点とした健康づくりの推進につながることに期待が持てる。
8	実証実験の手法等	⑮実証実験の手法及び効果検証 ・仕組み構築に寄与する内容となっており、特定の年齢に偏らない、様々な世代に参加いただくための工夫が提案されている。 ・アンケート内容や分析手法など、次につながる効果検証が期待される。
		⑯導入支援及びサポート体制 ・広報や参加者への説明など、スマートフォン等の操作が苦手な方を含め、多様な参加者が事業にスムーズに参加できる体制がとられている。 ・サポート窓口など、気軽に相談することができる。
		⑰障害発生時の対応及びセキュリティ対策 ・障害発生を未然に防ぐための対策がなされている。 ・不正アクセス対策やデータバックアップ等の必要な情報セキュリティ対策がなされている。
9	実施体制	⑱自治体における事業実績 ・自治体における事業実績がこの事業に活かせる。
		⑲専門知識や科学的根拠に基づいた事業の推進体制 ・専門職の配置や企業のノウハウ等の活用等により、健康づくり等の専門知識や科学的根拠に基づいて事業を推進できる体制がとられている。
計		

8 委託契約

最優秀提案者と提案内容、契約手法等の詳細を協議のうえ受託事業者として特定し、事業実施に係る委託契約を締結するものとする。

企画提案書の内容によっては、契約時の仕様書に反映する。

9 提出書類の取扱い

本業務に関する提出書類の取扱いは以下のとおりとする。

- (1)本業務に関する提出書類は一切返却しない。
- (2)提出書類は本プロポーザルに係る業務に使用する場合に限り複写する場合がある。
- (3)提出書類は他事業者に提供しない。
- (4)応募の際に要する経費などプロポーザルの参加に要する経費については、参加者の負担とする。

10 その他

この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定めるものとする。

11 問い合わせ及び提出先

本事業の問合せ及び書類の提出先は以下のとおりとする。

白鷹町 健康福祉課

〒992-0831 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲 488

電話:0238-86-0210 FAX:0238-86-0115

E-mail:kenfuku2@so.town.shirataka.yamagata.jp

附 則

この要綱は、令和7年7月7日から施行する。